

令和元年8月1日から

# おたふくかぜワクチンの 一部費用助成がはじまります

おたふくかぜは、ムンプスウイルスの飛沫感染・接触感染によって起こる病気であり、重症化すると難聴等の合併症を発症するおそれがあります。日本小児科学会では、おたふくかぜワクチンは1歳と小学校就学前1年間の2回接種を推奨していますが、札幌市では、集団生活を開始する前の接種が大切と考え、令和元年8月1日から、1回目の接種年齢を広げた対象の方に、任意予防接種費用の一部助成を実施します。

## 助成対象

- 札幌市にお住まいの  
生後12か月以上36か月未満の方



※おたふくかぜにかかったことがある方、8月1日より前に自己負担で接種している方は対象外になります。

## 助成額及び助成回数

- 助成額：3,000円

※医療機関では、接種時にかかった実費から3,000円を差し引いた金額をお支払いください。

- 助成回数：1回



## 接種場所

- 市内の実施医療機関

パソコン及びスマートフォンから  
「札幌市子ども予防接種医療機関」で検索いただけます。

<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/teikiaruimeibo.html>

※市内の実施医療機関は札幌市ホームページでご覧いただけるほか、市コールセンターでもご確認いただくことができます。

※予約が必要な場合がありますので、事前にお電話で医療機関にご連絡ください。

※札幌市外の医療機関で接種を受ける場合は、助成は受けられません。



## おたふくかぜとはどのような病気ですか？



おたふくかぜは、流行性耳下腺炎あるいはムンプスとも呼ばれ、ムンプスウイルスの感染によって起こる全身性感染症です。感染経路は基本的に飛沫感染ですが、場合によっては直接・間接の接触感染もあります。

2～3週間の潜伏期の後、発熱と痛みを伴う耳下腺、顎下線の腫れが急激に現れます。耳下腺の腫れは1～3日でピークとなり、7～10日で回復します。発熱は1～6日続きます。

合併症としては、精巣炎、卵巣炎、膵炎、腎炎、髄膜炎、髄膜脳炎及び感音性難聴等があります。感音性難聴は発症すると聴力の回復は困難です。

# おたふくかぜワクチンの接種による効果と副反応

## 【おたふくかぜワクチンの効果】

おたふくかぜは、1回の接種で9割程度の方が抗体を獲得すると言われています。

※予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって免疫ができないことがあります。

## 【おたふくかぜワクチン接種による主な副反応】

軽い副反応としては発熱、耳下腺の軽い腫れがみられることがあります。これは接種年齢が高いほど頻度が高いと言われていますが、通常症状は軽く、数日で消失します。また、接種部位の赤み、腫れを認めることがあります。これも通常症状は軽く、数日で消失します。

無菌性髄膜炎<sup>1)</sup>は、0.03%～0.06%の頻度で発生するとの報告がありますが、症状は比較的軽く、一部の例外を除き後遺症は残りません。また、自然感染による髄膜炎の発生頻度(1.24%)と比較すると、ワクチンによりおたふくかぜを予防する方がリスクは低いと考えられます。

重大な副反応としては、アナフィラキシー<sup>2)</sup>の報告が稀にあります。



効果と副反応を考慮のうえ、お子様の接種についてご判断いただきますようお願いいたします。

1) 無菌性髄膜炎：脳や脊髄を保護する髄膜の炎症で、発熱・頭痛・嘔吐などの症状を起こす。

2) アナフィラキシー：呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー反応。

予防接種後、副反応と思われる症状等で心配なことがありましたら、接種した医師にご相談ください。

## 健康被害の救済制度

ワクチンの接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、申請することにより補償を受けられる場合があります。おたふくかぜワクチン予防接種は予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。この接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済制度を受けることになります。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察を受けた医療機関へご相談ください。

## お問い合わせ先

- 予防接種実施医療機関等については、札幌市保健所のホームページでご覧いただけます。
  - ▶ ホームページ：ホーム>健康・福祉・子育て>健康(からだ・こころ)>感染症・予防接種>予防接種
  - ▶ URL：<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/teikiaruimeibo.html>
- 予防接種に関するご相談などは実施医療機関や各区保健センターにお問い合わせください。
  - ▶ 各区保健センター（健康・子ども課）〔月～金（祝日を除く）8:45～17:15〕
    - 中央保健センター TEL 511-7222 ○ 北保健センター TEL 757-1185
    - 東保健センター TEL 711-3211 ○ 白石保健センター TEL 862-1881
    - 厚別保健センター TEL 895-1881 ○ 豊平保健センター TEL 822-2469
    - 清田保健センター TEL 889-2047 ○ 南保健センター TEL 581-5211
    - 西保健センター TEL 621-4241 ○ 手稲保健センター TEL 681-1211
- 予防接種に関する一般的な注意事項や実施医療機関は、札幌市コールセンターでもご案内しています。
  - ▶ 札幌市コールセンター TEL 222-4894〔年中無休 8:00～21:00〕



SAPPORO

さっぽろ市  
02-F06-19-1408  
31-2-1000